

◆実りの秋 丁寧に収穫しました

今年もJA福島さくらさんや「田んぼの先生」の村上和行さん(谷津作)にお世話になり、5年生は米づくりの学習を進めてきました。

秋も深まった10月28日、子どもたちは学習田に出向き、待ちに待った稲刈りを行いました。あいにく前日までの悪天候により、足場が悪い中での稲刈りとなってしまいましたが、田んぼの泥に足をとられ悪戦苦闘しながらも、たわわに実った稲を大事そうにひと刈りひと刈り、丁寧に刈り取ることができました。

刈り取った稲を両手いっぱい抱え、泥だらけになりながらも笑顔で活動する子どもたちの姿を見ていると、学校内だけでは学べない貴重な学びができていることのありがたさを感じました。

村上さんをはじめ、これまでご協力いただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも小野町の人々との交流を通じた学習を進めていきたいと思えます。



◆小野小学校 運動会 たくさんの奇跡が重なる 運動会となりました

運動会が10月16日に行われました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の方々の参観についてはご遠慮いただきましたが、保護者の参観のもと、子どもたち425人が紅白に分かれて競技を行いました。

当日は、天気予報によると小雨の中での実施になる予想でしたが、子どもたちが校庭に出ると小雨も止み、競技中には奇跡的に雨が一滴も降ることなく運動会を行うことができました。

また今年の運動会は、子どもたち全員が運動会を楽しめるように「紅白対抗の団体競技のみ」での実施としました。団体種目も演技を入れたり、他学年と協力したりと、創意工夫のもと、子どもたちは全力で競技に臨みました。

結果は、なんと“紅白同点”という奇跡的なものになりました。子どもたちは、勝ち負けばかりでなく、全力で競い合う楽しさやスポーツマンシップの大切さを学んでくれたことと思えます。



1_盛り上がった新種目「全校生玉おくり」/2_玉入れの合間でかわいいダンスをする1年生/3_特大バトンを抱えて必死に走る3年生/4_道具を使って蹴り上げた玉をキャッチする4年生/5_だるまを落とさないように協力して運ぶ2年生と5年生/6_1年生を乗せたマットを運ぶ6年生/7_全速力で走り抜ける高学年リレー/8_優勝杯を掲げる紅白の代表